

フロパン 新聞

「せっかくどうも」のライブ盛況

アポロガス笑いで福島を元気に

アポロガス(福島市、相良元章社長)は16日、福島市のパルセいざかで「せっかくどうもお笑いライブ」を開いた。

社長交代を機に、毎年開いている「せっかくどうも祭り」の内容を今年からリニューアル。お笑いライブを全面に打ち出し、午前(招待客)・午後(招待客と一般販売)の計2回公演で約3600人が入場。ほぼ満員の大盛況だった。

会場には駐車場のほかシャトルバスで送迎し、最寄り駅に誘導員を配置するなどスムーズな移動の工夫を

はじめ、U字工事や平野ノラが登場。注目の芸人であるかが屋、ソフィー、東京ホテイソンも出演した。

平野ノラのステージでは、呼びかけに応えた観客が舞台で「ダンシング・ヒーロー」の曲に合わせて、バブリーダンスをオリジナル

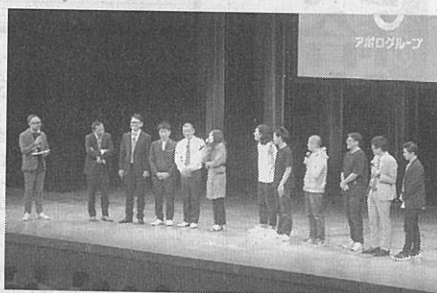
の振付で披露し会場は大いにわいた。芸人は、それぞれの持ち芸に福島にまつわるネタを随所に盛り込み、会場は爆笑の渦に包まれていた。

会場フリースペースでは、アポログループがブース出展。電力販売や水素燃

料電池自動車・ミライの実車展示なども行い、来場者の注目を集めた。さらに、ガス機器特価販売も行い、売れ筋のビルトインコンロなどを多数展示した。

このほか、電力小売業「ふくしま新電力」、リフォーム事業「ほっとリビング」、太陽光発電事業「アポロエネジー」など5社7事業のブースを回ると参加できるスタンラリー抽選会もにぎわいをみせていた。

相良社長は、「先着順にかかわらず用意した席の2・5倍の応募があり、多くのお客さまを招待できなかったことが今後の課題。来年も創業の地飯坂でイベントを行いたい」と抱負を語っていた。



ステージに人気芸人が勢ぞろい(写真上)、にぎわいをみせた抽選会(同下)